

令和7年度

チャイルドハウス東海 自己評価表

【評価 A：大変良い B：良い C：一部検討が必要 D：改善を要する】

実施日：令和8年3月

項目	内容	評価	特記事項
保育基本理念と保育実践	園の保育方針、保育目標を職員が把握できている	A	指導計画に基づいて保育を実践し、振り返りと評価を行いながら改善に努めている。概ね計画に沿った保育が実施できているが、子どもの状況やその日の流れによっては思うように進まないこともある。その都度、柔軟に対応しながらより良い保育につながるよう意識して取り組んでいる。
	子ども一人ひとりの人格を尊重し、主体性を大切にしたい保育をしている	A	
	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢や個々に留意した指導計画を作成している	A	
	指導計画に基づく実践を振り返り、評価し、その結果に基づき、保育の改善をしている	B	
	子どもが主体となって活動できる環境が整備されている	A	
	行事については、過去の評価や反省を反映した計画実施をしている	B	
家庭及び地域との連携・子育て支援	コドモンを利用して園の様子を伝えたり家庭での様子を伝えてもらったりし連携を図っている	A	懇談会については幼児中心に行っているが、他の学年も気軽に参加できるように、周知し希望がある時にいつでも実施できるような体制をとっていく。 日頃から地域の方に挨拶を行い交流を深めることで、園を知っていただき見守りにもつなげていきたい。現在は近隣の方のご厚意で、野菜の収穫体験などもさせていただいている
	懇談会や個別面談、個別相談を実施している	C	
	保護者アンケートを行い保護者のニーズ・意向の把握を行っている	B	
	地域の保護者に対する子育て支援をしている (子ども・子育てに関する相談・一時預かり等)	B	
	地域における連携・交流をしている (自治体・関係機関・小学校・他園との連携等)	A	
保育の実施運営・組織	各種会議を適切かつ効率的に進めており、会議録を全職員に周知し、職員間の共通理解に努めている	A	交通安全指導に関しては職員が行っているが専門の方に来ていただける機会を作りたい。  情報を提供し、正職、パート職員関係なく、研修等に参加しやすい環境をつくる。  園内研修は、職員が主体的に楽しみながら無理なく取り組める形を大切にし、その積み重ねを子どもたちへのより良い保育へとつなげていきたい。
	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
	園児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱い、守秘義務の遵守を全員に周知している	A	
	苦情受付窓口を設置し、苦情解決体制が整っている	A	
	安全計画に基づいて、避難訓練、不審者訓練、交通安全指導等を行っている	B	
	事故を防ぐため、事故防止チェックリストや室内外の安全点検を行い、危機管理意識を高めている	A	
	職員の資質向上のため、園外研修、法人内研修の機会が確保されている	B	
	保育課題への共通理解や協働性を高め、園全体としての保育の質の向上にむけ、園内研究を行っている	B	